

平成 27 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	02	01	07	0401	公共交通確保対策事業費	
総合計画	分野	暮らし				
	政策	2-2	生活基盤の充実			
	施策	2	公共交通の確保			
目的	コミュニティバスの運行や民間路線バスへの補助を行い公共交通サービスを確保するため					
対象	公共交通を必要とする市民					
意図	利用しやすい公共交通サービスを提供する					
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること					
<input type="checkbox"/> バス等運行業務委託 大迫地域公共施設連絡バス、市営バスの運行委託 <input type="checkbox"/> バス等運行事業補助 市街地循環バスふくろう号、大迫・花巻地域間連絡バス、中部病院連絡バス、予約乗合タクシー（石鳥谷・東和地域、湯口地区）の運行補助金の交付 民間路線バス事業者が運行する路線バスに対し補助金を交付 <input type="checkbox"/> 啓発用印刷物作成等 バス時刻表の作成など						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
①	コミュニティバス利用者数	人	計画	85,000	85,000	99,900
			実績	79,204	76,212	
②	予約応答型乗合交通利用登録者数	人	計画	1,840	1,900	1,940
			実績	1,899	1,927	
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
①	市内の公共交通機関が利用できる市民の割合	%	目標	77.7	77.7	77.7
			実績	71.0	73.0	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="radio"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
路線バス利用者が減少傾向にある中で、より効率的で利便性の高い予約応答型乗合交通の運行により、公共交通を必要とする市民等の移動手段を確保することができた。今後は、更なる利便性の向上に向けて、既存の予約応答型乗合交通運行地域（石鳥谷及び東和地域）において当日予約が可能なシステムを導入するとともに、他地域への導入も併せて検討し、成果の向上に努めていく。		
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	公共交通サービスは、交通弱者の移動手段の確保のみならず、市民の日常生活における利便性の向上や市街地の活性化に資するものであり、公共関与は妥当である。
有効性	成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	公共交通を必要とする市民が利用しやすい運行経路やダイヤ設定となるよう、利用者ニーズの把握に努め地域との協議を行うことで、成果の向上が期待できる。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	民間路線バスの廃止等に伴い、利用者の予約に応じて運行する予約応答型乗合交通の導入を進め、効率的な公共交通サービスの提供を推進している。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	コミュニティバスの運行にあたっては、利用者ニーズの把握に努めたくて運行便数を決定しているため、受益機会は適正である。また、運賃については、定時定路線型は利用距離、区域型は利用区域に応じて設定していることから公平性は適正である。
総合評価 …上記評価結果の総括 市街地循環バスふくろう号や予約応答型乗合交通をはじめとしたコミュニティバスの運行により、効果的かつ効率的な公共交通サービスの提供に努めたことで、公共交通を必要とする市民等の移動手段を確保することができた。 また、市内を運行している民間路線バスのうち、不採算状態にある路線バスに対し補助を行ったことで路線の維持が図られ、公共交通を利用できる環境が維持された。		

平成 27 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	02	01	07	0401	公共交通確保対策事業費

単位：千円

		26年度 決算額(A)	27年度 決算額(B)	28年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		99,727	88,735		△ 10,992
財源 内訳	国・県	2,252	2,316		64
	地方債	9,100	21,600		12,500
	その他	1,418	1,345		△ 73
	一般財源	86,957	63,474		△ 23,483

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------	------	-----------------

部経営方針における目標
公共交通の利便性を図ります

事業開始の背景・経緯
バス利用者数の減少による民間路線バスの撤退、市街地の活性化や合併による直通バスの確保などの課題に対し、公共交通を必要とする市民等にとって、利用しやすい公共交通サービスを提供

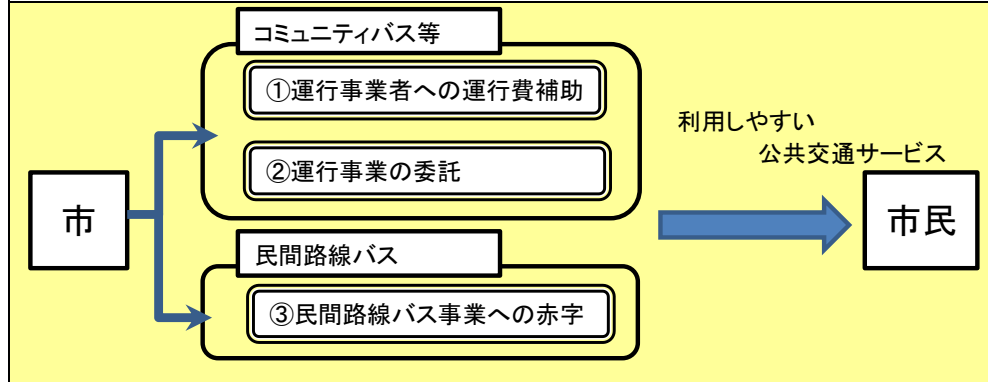
事業概要
○バス等運行业務委託
大迫地域公共施設連絡バス、市営バスの運行委託
○バス等運行事業補助
市街地循環バスふくろう号、大迫・花巻地域間連絡バス、中部病院連絡バス、予約乗合タクシー（石鳥谷・東和地域、湯口地区）の運行補助金の交付
民間路線バス事業者が運行する路線バスに対し補助金を交付
○啓発用印刷物作成等
バス時刻表の作成など

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等
・石鳥谷地域及び東和地域で運行している区域運行の予約応答型乗合交通は、前日予約としていることから、より柔軟に利用できる当日予約システムの導入を検討している。併せて、東和地域においては予約応答型乗合交通の利便性向上に伴い、市営バス運行事業を廃止し、スクール専用運行に転換することを検討する必要がある、関係機関との調整を行っている。また、当日予約システムの導入に向け、タクシー業協同組合との協議・調整中である。
・ふくろう号の増便にあたり、運転手の確保等、運行事業者との協議・調整が必要である。
・現在策定中の立地適正化計画と連携した公共交通を実現するため、地域公共交通網形成計画を策定する。
・ふくろう号のルートやバス停留所に関する要望（大型商業施設への乗り入れ等）が多い。

担当部署 部名 建設部 課名 都市政策課 担当係長 粒針 満 内線 566

(単位：千円)

【事業手法の詳細】…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



①コミュニティバス等運行事業補助 48,338千円
市が決定した運行内容により運行事業者が運行し、補助対象経費から運賃収入を差し引いた額(赤字)を補助金として交付。 単位：千円

市街地循環バスふくろう号	6,060	1日10便 (右回り5便・左回り5便)
大迫・花巻地域間連絡バス	12,585	平日4往復・土日祝日2往復
県立中部病院連絡バス	1,340	平日4往復
石鳥谷デマンド [®] (区域運行)	5,463	2エリア 週2日 1日4便
東和デマンド [®] (区域運行)	7,654	2エリア 週3日 1日3便
湯口デマンド [®] (定時定路線)	457	平日3日 1日3便
広域生活路線等補助	14,779	県単補助路線2路線・市単補助路線4路線

②コミュニティバス等運行事業委託 39,002千円
市が決定した運行内容により運行事業者に対し運行业務等を委託 単位：千円

大迫公共施設連絡バス	273	平日1便
市営バス (5路線)	37,800	平日1往復・土日祝日2往復 ※一部変則あり
市営バス公金収納業務	918	市営バス運賃の収納業務
火災警報装置点検業務	11	市営バス事務所および車庫

③その他 1,395千円 単位：千円

需用費	1,204	時刻表等印刷製本、市営バス事務所光熱水費等
土地借上料	191	市営バス転回所土地借上料(4ヶ所)

平成 27 年度事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	02	01	07	0401	公共交通確保対策事業費

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

■民間路線バス											H28.3.31現在	
No.	種別	路線名	運行形態	料金形態	起終点	起終点	所要	市補助	その他補助	備	考	
1	幹線	石鳥谷線	定時定路線	距離制	志和口	北上駅前	65		国・県各1/2			
2	幹線	土沢線	定時定路線	距離制	イトヨカト	雲南桜前	40		国・県各1/2	H26.4.1路線縮小(晴山～雲南桜前・土沢中町～東和病院)		
3	幹線	成田線	定時定路線	距離制	花巻北高	北上駅前	52	◎	県・市各1/2	北上市距離按分 花巻市分8.6km		
4	幹線	大迫石鳥谷線	定時定路線	距離制	大迫BT	石鳥谷駅前	27	◎	県・市各1/2			
5	幹線	大迫紫波中央駅線	定時定路線	距離制	大迫BT	紫波中央駅	36	○		紫波町距離按分 花巻市分9.95km		
6	支線	教育センター線	定時定路線	距離制	花巻駅前	教育センター	32	○		H26.4.1路線縮小(教育センター～新湯本温泉)		
7	支線	栃内線	定時定路線	距離制	花巻駅前	尻平川	34	○				
8	支線	高木団地線	定時定路線	距離制	イトヨカト	高木団地	15			H26.4.1路線再編(母衣輪線・更木線一部路線廃止)		
9	支線	天下田団地線	定時定路線	距離制	天下田団地	花巻市役所前	14	○				
10	支線	長崎線	定時定路線	距離制	大迫BT	長崎	13			※補助対象システムの廃止により、補助路線から除外(H28～)		
11	支線	太田線	定時定路線	距離制	花巻駅前	清風支援学校	17			H27.10.1～11.30高村記念館まで延伸・増便(試験運行)		
12	支線	花巻北高線	定時定路線	距離制	花巻駅前	花巻北高前	10					
13	支線	堅沢線	定時定路線	距離制	大迫BT	堅沢	28					
14	支線	旭の又線	定時定路線	距離制	大迫BT	合石	26					
15	支線	黒森線	定時定路線	距離制	大迫BT	黒森	29					
16	支線	早池峰線	定時定路線	距離制	大迫BT	岳	37					
17	自主	湯口線	定時定路線	距離制	イトヨカト	新鉛温泉	37					
18	自主	花巻温泉線	定時定路線	距離制	賢治詩碑前	台温泉	38					
19	急行	急行大船渡盛岡線	定時定路線	距離制	盛岡駅	県立大船渡病院	72			H26.9.20一部経路変更(高速利用東和経由)		
20	急行	急行釜石盛岡線	定時定路線	距離制	盛岡駅	大槌中央公民館	184					
21	その他	花巻空港線	定時定路線	均一制	盛岡BC	花巻空港	60					
■自主運行バス												
No.	種別	路線名	運行形態	料金形態	起終点	起終点	所要	区分	備	考		
1	幹線	大迫・花巻地域間連絡バス	定時定路線	距離制	大迫BT	花巻駅前	45	補助	平日4往復、土日祝2往復			
2	-	県立中部病院連絡バス	定時定路線	距離制	花巻駅前	県立中部病院	24	補助	平日4往復 ※上記大迫・花巻連絡バスの延伸			
3	支線	市営バス田瀬線	定時定路線	距離制	東和病院前	向田瀬	59	委託	平日 1往復 土日祝 2往復			
4	支線	市営バス中内線	定時定路線	距離制	歴史資料館前	太田目	42	委託	平日 2往復(火・水・金1往復) 土日祝 1往復			
5	支線	市営バス小山田線	定時定路線	距離制	旧土沢小学校前	南川目	29	委託	平日 2往復(火・水・金1往復) 土日祝 1往復			
6	支線	市営バス山の神線	定時定路線	距離制	旧土沢小学校前	山の神	34	委託	平日 1往復 土日祝 2往復			
7	支線	市営バス浮田線	定時定路線	距離制	旧土沢小学校前	三坊木	33	委託	平日 1往復 土日祝 2往復			
8	循環	市街地循環バスふくろう号	定時定路線	均一制	I Y	I Y	48	補助	1日10便(右回り5便・左回り5便) 1回乗車100円			
9	循環	公共施設連絡バス	定時定路線	無料	大迫BT	大迫BT	15	委託	平日 1便			
10	デマンド	石鳥谷地域予約乗合タクシー	区域運行	均一制	石鳥谷地域	河東地区	-	補助	週2日 1日4便 300円			
					石鳥谷地域	河西地区	-		週2日 1日4便 300円			
11	デマンド	東和地域予約乗合タクシー	区域運行	均一制	東和地域	北部地区	-	補助	週3日 1日3便 400円 ※同一振興センター管内300円			
					東和地域	南部地区	-		週3日 1日3便 400円 ※同一振興センター管内300円			
12	デマンド	湯口地区予約乗合タクシー	定時定路線	距離制	野田十文字	上円藤	10	補助	週3日 1日3便 ※県交通鍋倉線廃止に伴いH26.4.1から試験運行			